

# FUNCTION

Vol.  
Feb. 2012



## CONTENTS

- 患者さまへ・Message
- 杉元のごめんください・Visit
- お知らせ・News
- 杉元が答える・Communication



## —今、自分たちにできることは？— 大人とか若者とか

### Message 患者さまへ

こんにちは。杉元です。突然ですが、若年層の患者さまは、周りにいる大人の評価をどう感じておられますか？ また、「大人」である皆さんは、今の若年層をどのように感じ、評価されていますか？

私は、当院のブログにも記したことがありますが、今の20代、30代の若者に対する大人の評価が、思いのほか低いことに違和感をおぼえることがあります。たとえば、大学の就職率の低迷、「ゆとり世代」と呼ばれる世代の議論などについても、冷静に考えてみると、原因を作っているのは大人たちではないでしょうか。就職についても受け入れられない社会構造に原因があるとも考えられますし、教育方針についても教わる側は選択できません。日々、私の周囲のスタッフや一緒に勉強をしている歯科業界の20代、30代を見ても、とても前向きで我慢強く、優秀な人が多いように感じます。厳しい社会情勢の中、時代が大きく転換しようとしていることをわからずに取り残されているのは「大人」と思っている世代なのではないかとすら感じます。

今回は、私とはまったく違う業界で活躍されておられる越前屋依太さん（書家、依越山さん）とお話させてもらい、お互いの知る業界について話しながら、「大人と若者」について考えてきました。2号連続でお届けします。楽しんでいただければ幸いです。

杉元敬弘

## 杉元のごめんください

夜のとほりが下りた京都。杉元氏が出向いた先は、彼が「若い頃から大ファンだ」と目を輝かせて語る人の隠れ家。世界各国で道行く人を巻き込んだパフォーマンスをし、テレビ業界を驚かせた越前屋俵太氏が、杉元氏に投げかける質問とは!?

どんな時代であっても  
時代に求められるものがある

杉元 こんにちは。本当にお会いできて光栄です。よろしくお願ひします。

俵 こちらこそお願ひします。まあ、先生、お酒でも飲んでゆつくりお話ししましょうか。

杉元 ありがとうございます。それにしても、ここ、カッコイイですね。ご自分で造られたんですか？

俵 そうですよ。端材を集めてね。

杉元 お店なんですか？

俵 事務所という噂もありますけど(笑)。僕、テレビに出る前はバーテンダーだったので、初心に戻ろうと思っただけ。

杉元 ところで、今は越前山というお名前前で書家をされていますが、なぜテレビに出るのをやめられたんですか？

俵 僕がテレビ業界に入った頃、番組は「プロがプロとやる」というのが主流だったので「素人と接するほうが面白い」と言っても認められなかったんです。でも、実際は、僕が素人と接する番組を始めたらウケた。

で、テレビ局が当然のごとく同じように素人を使う番組を増やしたんです。

杉元 今や当たり前ですもんね。

俵 でもね、本気で考えて作った者からすれば、上辺だけマネして微妙にヤラセをしている番組なんかを見ると一緒にされたくないと思ってしまうんですよ。

杉元 一視聴者としても、ファンだったのでその違いはよくわかります。

俵 あと、最近思っなのは、越前屋俵太という人は、自分の意思に関係なく、時代が必要としていたのではないかとも思っています。それでいえば、歯科業界でも杉元先生ご自身が、今の歯科業界に必要とされていると感じられたことはありませんか？

杉元 ありますね。少し前までは、歯科医

の数に対して患者さんが多かったのですが、歯科医はもつと貴重な存在でしたし、保険負担の割合も違いましたけど、今はコンビニより歯科医院の数のほうが多い時代ですからね。「歯医者者が儲からない」時代に求められる歯科医にはなっていると思いますよ。

俵 そうすると、今の歯医者で先生以外の

患者さんに評価してもらえれば  
それでいいと思っています。

方たちは、どうされているんですか？

杉元 真面目です。「審美が儲かるから審美」というような安易な歯科医もいますけど、僕らの世代やその下の世代は本当に真面目にしている人が多いと思いますよ。

俵 で、先生はそんな今の時代の中で、オリジナルの治療法を考えられたんですね。

杉元 そうですね。

俵 でも、歯医者で180度違うことなんてできないでしょ？

杉元 できます。業界の進歩で、治療したかったことが、できるようになりました。

俵 それが、先生の場合は噛み合わせの治療だったということですね。

杉元 そうですね。

チャンスは自由からではなく  
不自由から生まれることもある

杉元 ただね、僕が噛み合わせの治療をしているのは、患者さんが死ぬまで噛めたらと本気で思っているからなんですけど、そうすると、今やるべきことが後でやるべきことが分かれてくるというか…。

俵 それは、たとえば水漏れで例えるとしたらこうですか。「あつちが漏れているのであつちを直す」という工事がいるとする。先生は「漏れている元があるから元を直していきましよう」という工事者だ。

杉元 そういことなのですが、そんな意識すら持たずに働いている人が多いのが現実です。そういう意味でも日本の歯科医はアメリカに比べても遅れていると思います。俵 それはなぜですか？

**杉元** 保険制度の違いが大きいです。日本の場合は治療のたびに治療費を払いますが、アメリカでは歯科医院と保険会社が契約をしているので、ひとりが一生にかける費用が決まっているんです。つまり、日本は治療回数を増やせば増やすほど儲かる仕組みになっている。だから治療に明け暮れる。アメリカの歯科医は、物理的にも金銭的にも余裕があるので考えられるんです。

**俵** それ、制度の問題だと思っんですが、政治家はわかっているんですか？

**杉元** わかっていないでしょうね(笑)。

**俵** わかってないんや！ ちなみに、そういう事情は、歯医者を目指している学生は、わからないですよ。

**杉元** わかりませんね。でも、逆にいえば、僕は「ぬるま湯の業界だ」と知ったとき、同時に「自分さえちゃんとすればチャンスをつかめる」と思いましたけどね。

**俵** 僕ね、学生によく言っていることがあるんです。それは「不自由であることはいんだ」ということです。人間は負荷のないところではトレーニングができない。負荷を押しつける力が原動力になる。越前屋俵太が街へ出ていったのも、番組のセットを作るお金がなかったからですね。

## 人と向き合うことの意味 そこから生まれるもの

**俵** ところで、話が戻りますが、先生が治療されている「噛み合わせ」ですが、放っておくとどうなるんですか？

**杉元** 歯がなくなるんです。人間は上下28

## 時代の中の負荷があって 越前屋俵太はつくられた。



本の歯で噛んでいるのですが、どこかに集中して負担がかかると崩れてくるんです。

最初は1本でも、バランスを診ていかないと加速度的に歯が抜けてくるんです。

**俵** 僕らが歯医者に行くのは、虫歯とか自覚できることでしか行かないでしょ？

**杉元** もうちょっと先に「ものが食べられなくなった」という瞬間があるんです。

**俵** だとしたら、先生はもっと啓蒙していくべきじゃないんですか。「歯は大切だからメンテナンスしておきましょう」とか。

**杉元** ただ、メンテナンスと呼べる時点では患者さんに実感がないんです。だから、崩壊が始まってから僕の出番になりますね。

**俵** つまり、先生はみんながさじを投げていけばいほど燃えるということですか？

**杉元** それはかりじゃないですけど、まあ、そういうことになりませぬ。

**俵** 誰にも治せないものを治したいという、そこが大切だということですね。

**杉元** というよりは、そもそも歯科医はそうあるべきだと思っっているんですけどね。

**俵** なんてそう思うようになったんです？

**杉元** 勤務した先の先生から教わりました。歯科医療は素晴らしいものだというのを。

**俵** しかし、こうやって聞いていると、先生の治療は理屈ではないですね。患者さんとちゃんと向き合わないときませぬね。

**杉元** だから、治療時間よりも患者さんと話をしている時間が長かったりするんです。

**俵** でも、やっぱり、そこが肝心ですよ。僕も10分程度の番組でも実際は丸1日かけてインタビューしてましたから。自分の

思いを伝えたり、人から話を聞かせてもらうためには、絶対に時間がいらすわ。それに、人と話をさせてもらうことで教えて

もらうこともたくさんありますね。

**杉元** そうですね。歯科治療だと会話は保険点数には入らないので治療費は数百円にしかならなかったりするんですけど、それは保険が評価していないだけで、患者さんが評価してくださるならいいんですよ。

**俵** その感覚はよくわかります。テレビでもお金儲けのために視聴率を重視しますし、そのためにヤラセもしますし。結局、多くの人が本質を求めるのではなく、ラクをしたいんでしょうね。

(次号に続く)

### Profile

**俵 越山 (Tawara Etsuzan)**  
関西大学客員教授、仁愛大学准教授、大谷短期大学非常勤講師。関西大学在学中、越前屋俵太という名で衝撃デビュー。『探偵ナイトスクープ』『達者でござる』など、企画・講演・演出から参画している番組で、民間放送連最優秀賞などを受賞。現在は俵越山という名で作家として活動している。

## 患者さまへのお知らせ

## ① アンケートへのご協力をお願いします

スギモト歯科医院では「より満足していただける医院」を目指すために、引き続きアンケートを実施します。ご協力いただきました患者さまには、歯ブラシ1本を進呈させていただきます。お手数おかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## ② お手紙をお待ちしています！



▲「白さつま芋」(左)と「安納芋」

院内新聞「FUNCTION」では通院されている患者様から、杉元医師へのご質問やご意見、治療の体験談など、歯に関するお手紙を募集しています。

新聞に掲載させていただいた方には、杉元医師からスギモト歯科医院オリジナルラベル、一品堂の皇室献上酒の芋焼酎「白さつま芋」か「安納芋」のいずれか1本を進呈します(20歳以上)。※在庫状況により品が変わることがあります。

## 応募方法

お手紙やおハガキに、氏名・年齢・性別・電話番号・ご住所を明記の上、医院のポストに直接投函いただくか、必要分の切手を貼ってご郵送ください。書式や文章量は自由です。匿名希望の場合は「匿名希望」とご明記ください。

※個人情報保護法に則り、患者さまからご提供いただいた情報はこちらで責任を持って管理させていただきます。ご掲載させていただく際、内容は変えませんが、一部文章を変更させていただく場合があります。ご了承ください。また、お送りいただいたお手紙やおハガキはお返しできませんので、ご注意くださいませ。

## 杉元が答える

**Q** 福島原発災害のニュースを見ていると、放射線量のことになり始めました。歯科医院で使われるレントゲンでは、どれぐらい被爆しているのでしょうか？ 京都府・42歳・♂

**A** お口の中に入れて歯を撮影する当院のデンタルレントゲンの人工放射線量は、0.01mmシーベルト(1枚)。お口の中を全体的に診るパノラマX線撮影は、0.02mmシーベルト。歯科用CT撮影は、0.2mmシーベルトです。医科でいえば、胃のX線集団検診でのレントゲンは、0.6mmシーベルト。脳外科用頭部のCT検査では2.0mmシーベルトとされています。

ちなみに、東京—ニューヨーク間を飛行機で往復した場合の、宇宙からの自然放射線(自然界からの放射線)は0.19mmシーベルト。また日本人が被爆している自然放射線量は、年間で2.1mmシーベルトとされています。

そこで、歯科のレントゲン撮影についての私見ですが、「レントゲンの使い分け」が大事だと思っています。たとえば、当院で使用しているデンタルレントゲンは、デジタルに比べると0.0075mmシーベルト被爆量が多くなるんです。多くなるけれども、正確性があると思っているのでデンタルレントゲンを使っています。また、昨今「CTを使わない歯科医院は危険だ」というような話をよく聞きますが、僕は「CTを使わなくても診断できる」と思ったときには使いません。メリットはないのに被爆量の多いレントゲンを撮るのは無意味ですからね。



▲当院のCT診断装置

※参考資料) 朝日レントゲン工業(株)からの提供資料「全国歯科大学・歯学部付属病院診療放射線技師連絡協議会からの資料」

医療法人 幸加会

## スギモト歯科医院

電話 0120-76-3718(フリーダイヤル)  
0774-64-2424

FAX 0774-64-2266

診療時間 月～金 10:00～13:00 / 14:00～20:00  
土 10:00～13:00 / 14:00～18:00

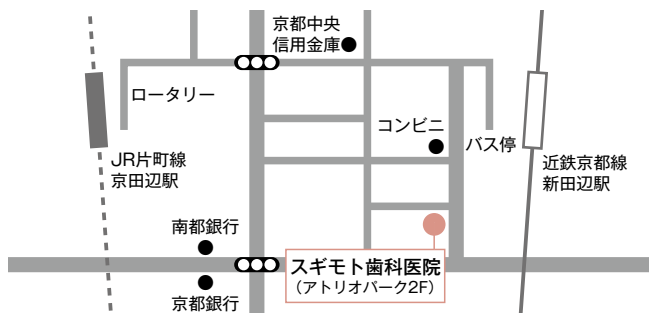
休診 日曜・祝祭日

施設 完全個室、オペ室、駐輪場、駐車場

〒610-0331 京都府京田辺市田辺中央1-2-11  
アトリオパーク2F

ホームページ <http://sugimoto-dc.jp/>

「新田辺」駅前、「京田辺」から徒歩約5分



## 交通

京都 ▶ 「京都」から近鉄京都線急行・近鉄奈良行で「新田辺」まで約20分  
奈良 ▶ 「近鉄奈良」から近鉄奈良線急行・国際会館行で「新田辺」まで約20分  
大阪 ▶ 「京橋」からJR片町線快速・木津行で「京田辺」まで約40分  
東京 ▶ 「東京」からJR新幹線のぞみで京都駅を経由し「新田辺」まで約3時間